

YAMAHA
OWNER'S MANUAL

YAMAHA
CONCERT XYLOPHONE

YX-320

取扱説明書

YAMAHA

このたびは、ヤマハコンサートシロフォンYX-320をお買
上げいただきまして誠にありがとうございます。

YX-320は、厳選された素材を用いて正確な音律と
反応のよい明るく澄んだ音色によりソロにも、アンサンブル
にも、またスクールバンドにも適したコンサートシロフォンで
す。本書では、ヤマハコンサートシロフォンの正しい取り扱
い方を説明いたしておりますので、ぜひご一読のうえ、
末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

CONTENTS

ごあいさつ	1
YX-320の特長	2
各部の名称	3
組み立て方	4
取り扱い上の注意	8
保存上の注意	8
仕様 音域表	9

YX-320の特長

1. 選び抜かれた音板材

音板材には、理想的な響きと音色を生み出す高級ホンジュラスローズウッドを使用。十分な自然乾燥と人工乾燥を施した上で、さらに選び抜かれた素材だけを用いています。

2. 精密な調律

音板の調律は、温度・湿度がコントロールされた部屋で、熟練した技術者の耳と正確なストロボ式チューナーを使用して行なわれます。

シロフォン本来の音色を得るため、倍音は3倍音に精密に調律しました。また、高音域は自然なピッチ感を得られるよう、コンサートピアノの高音部と同様の調律カーブで調律しています。

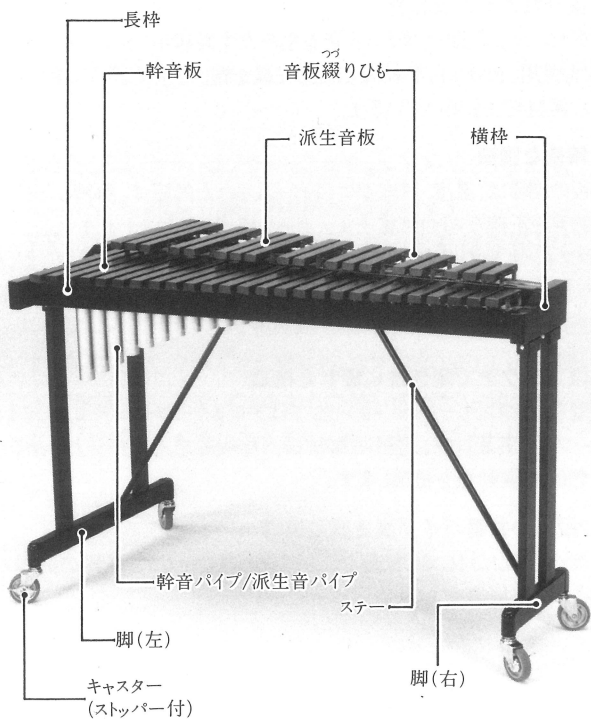
3. コンパクトで耐久性に優れた構造

小型ながらコンサートシロフォンとしてはフルスケールの $f_1 \sim c_5$ ($3\frac{1}{2}$ オクターブ)を実現。また、堅牢な脚は折たたみ式で、ステージ上などでは理想的な機動性を発揮します。

4. 2段階の共鳴パイプ高さ調整機構

温度の変化に対しても最適な響きが失われないよう、2段階の共鳴パイプ高さ調整機構があります。

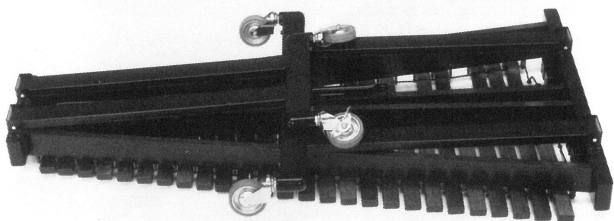
各部の名称



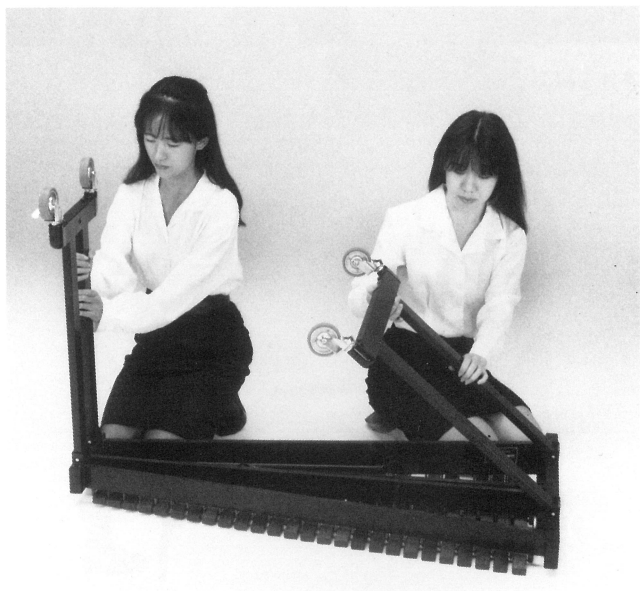
1

組み立て方

十分なスペースをとり、床にジュータン、または柔らかな布を敷いた上に本体を裏返します。



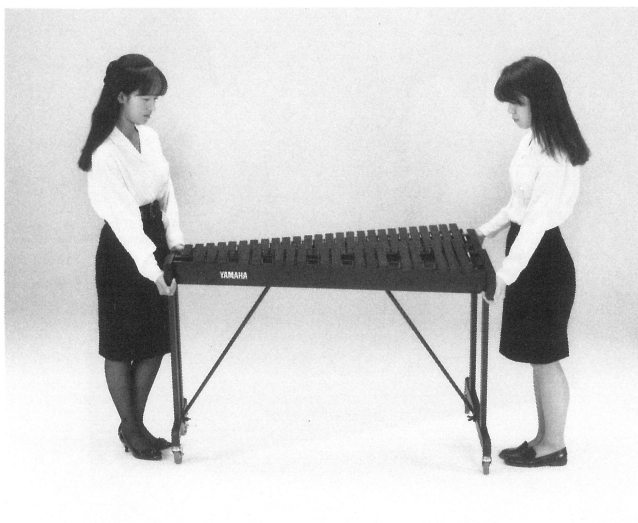
まず、左右の脚を開き、ステーを持ち上げて下さい。



ステーを脚部に固定します。蝶ボルトは確実に締付けて下さい。



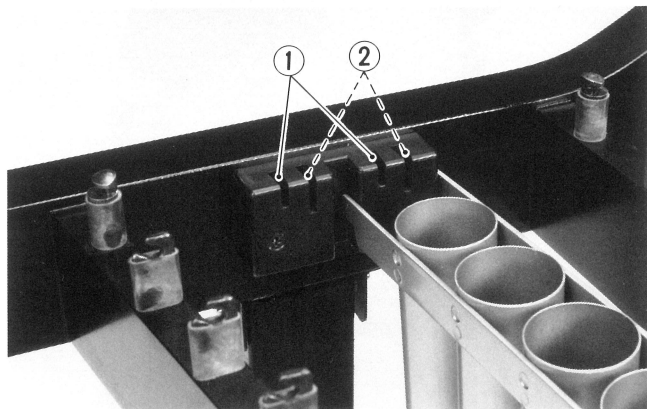
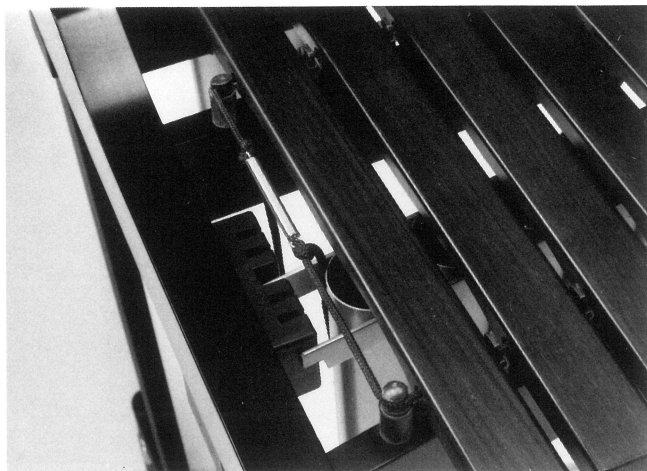
本体を起こします。



ぶつけたり、落としたりしないように注意して、共鳴パイプを長棒の下から入れます。最初に高音側を差し込んで下さい。



低音側のパイプをかける場合には、パイプ受けのまん中の溝を通して持ち上げます。室温が22℃以上の時は①の浅い方へ、22℃未満の時は②の深い方へかけて下さい。



最後に、ボルト類がきちんと締まっているかをもう一度確認しましょう。
音板の汚れは、乾いた柔らかな布でふいて下さい。

2 仕様

音域＝ $f_1 \sim c_5$ ($F_{45} \sim C_{88}$) $3\frac{1}{2}$ オクターブ

音板材＝ホンジュラスローズウッド、オープンポアーフィニッシュ

音板幅/厚さ＝33mm/18mm

共鳴パイプ＝スチール管、ライトゴールドアクリル系焼付塗装

枠＝ブナ材黒色生地塗装

脚＝スチール角パイプ、黒色レザーサテン塗装

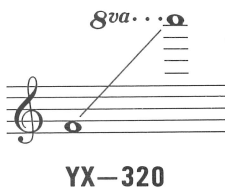
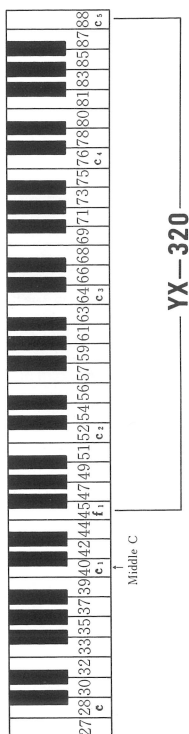
75φ キャスター(ストッパー付)

寸法(間口×奥行×高さ)＝121×64×86cm

重量＝26kg

尚、仕様は予告なく変更することがあります。

3 音域表



安全へのこころがけ

コンサートシロフォンを安全にご利用いただくためのご注意

コンサートシロフォンはご家庭や学校内で、お子様から専門家まで幅広い方々にご愛用いただいております。

コンサートシロフォンは大きくて重い楽器です。室内での置き場所や日常の取り扱いについて、安全にご使用いただくため、下記の注意を必ず守ってください。特に小さなお子様には、最初にご家族の方、または指導者から取り扱い方法を指導してください。

人身傷害の危険を防止するには ～以下の指示を必ず守ってください～

絵表示について

この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。



注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為を告げるものです。

例:  → 分解禁止



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



コンサートシロフォンを使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。

設置上の注意



楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

取扱い上の注意



楽器にもたれかかったり、乗ったりしないでください。楽器が倒れて、大けがをすることがあります。



楽器のまわりで遊ばないでください。身体をぶつけてけがをする恐れがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりで遊ばないように注意してください。

移動の際の注意



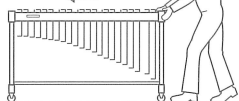
キャスターを利用した移動は、滑らかな平坦面でのみ行ってください。側枠の上部をささえ、間口の方向へゆっくりと押してください。

キャスターを利用して移動する時には

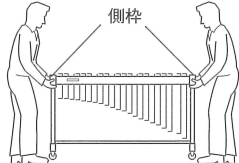
1. 傾いた所や凸凹のある道、じゃり道は避けてください。コンサートシロフォンが倒れたり暴走したりして危険です。
2. 走らないでください。楽器が止まらなくなって、壁にぶつかるなどして大けがをすることがあります。
3. 持ち上げて運ぶ際は、必ず2人以上で、側枠を両手で持って運んでください。

※ コンサートシロフォンYX-320の重量は、26kgです。

間口方向へ
ゆっくりと押す



側枠



地震による強い揺れにより、楽器が移動したり転倒する恐れがあります。地震の際は楽器に近づかないようにしてください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



割れた音板はすみやかに交換してください。音板の割れ目は鋭利ですから、手などを切る危険があります。



頻繁に移動するような場合は、各部のボルト類がゆるむことがあります。移動後には、ゆるみをチェックし、ゆるんでいる場合は締めてください。



マレットは演奏目的以外には使用しないでください。けがや事故の原因となります。お子様が人の身体をたたくなど、危険な行為をしないように注意してください。

